

勝田 悟 (かつだ さとる)

1960年、石川県金沢市生まれ。

東海大学教養学部人間環境学科・大学院人間環境学研究科教授。

工学士（新潟大学）〔分析化学〕，法修士（筑波大学大学院）〔環境法〕。

<職歴>政府系および都市銀行シンクタンク（研究員，副主任研究員，主任研究員，フェロー），産能大学経営学部（助教授）を経て，現職。

【主な著書】

〔単著〕

『環境学の基本 第二版』（産業能率大学，2013年），『原子力の環境責任』（中央経済社，2013年），『グリーンサイエンス』（法律文化社，2012年），『環境政策—経済成長・科学技術の発展と地球環境マネジネント—』（中央経済社，2010年），『環境学の基本』（産業能率大学，2008年），『地球の将来—環境破壊と気候変動の驚異—』（学陽書房，2008年），『環境戦略』（中央経済社，2007年），『環境概論』（中央経済社，2006年），『早わかり アスベスト』（中央経済社，2005年），『知っているようで本当は知らない シンクタンクとコンサルタントの仕事』（中央経済社，2005年），『環境保護制度の基礎』（法律文化社，2004年），『環境情報の公開と評価—環境コミュニケーションとCSR—』（中央経済社，2004年），『持続可能な事業にするための環境ビジネス学』（中央経済社，2003年），『環境論』（産能大学；現産業能率大学，2001年），『汚染防止のための化学物質セーフティデータシート』（未来工研，1992年）など

〔共著〕

『企業責任と法—企業の社会的責任と法の在り方—〔企業法学会編〕』（文眞堂，2015年），『文科系学生のための科学と技術』（中央経済社，2004年），『現代先端法学の展開〔田島裕教授記念〕』（信山社，2001年），『薬剤師が行う医療廃棄物の適正処理』（薬業時報社；現じほう，1997年），『石綿代替品開発動向調査〔環境庁大気保全局監修〕』（未来工研，1990年）など。